

大豆栽培で農地を有効活用し、淀江の水田を引き受けますプラン

事業実施主体名	株式会社 かめはま		住 所	米子市
プラン認定日	平成20年2月25日	プラン期間	平成20年～平成22年	

1 プラン内容

(1) 概要

○目的

地域の水田を有効に活用した農業経営を確立し、将来にわたって地域を守ることのできる活力のある経営を目指す。

○取り組み

- ・淀江町亀浜地区で受けた農地の対応をするために、機械の効率的な利用と機械の更新を極力抑えることで、経営の安定化を図る。
- ・地域で需要のある大豆品種（フクユタカ）の作付けを拡大し、大豆栽培を経営の柱とする。
- ・農地の荒廃防止のため農地の利用権設定を行い、大豆と水稻の規模拡大を行うとともに、高齢農家等の作業委託要望に応える。

(2) 取り組みポイント

- 農地の利用権設定の増大
- 機械の導入により、利用権設定及び作業受託による面積増加に対応する。
- 大豆を中心とした経営の安定化

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H20	乗用田植機（薬剤散布装置付） 5条 1台 トラクター 28PS	4,600	1,533	767
H21	ツインモア 28～50PS用 1台	997	306	154
H22	汎用コンバイン 38.4PS 1台	5,338	1,779	890
合 計		10,935	3,618	1,811

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (H19)	現 状 (H24)
労働力 (雇用)	6 人	6 人
経営内容・規模	大豆 1.5 ha 水稲 5 ha 作業受託 4.8 ha (延べ面積)	大豆 1.9 ha 水稲 7 ha 作業受託 4.1 ha (延べ面積)

(2) 成果

ア プラン目標に対する実績

- 大豆・水稲の作付面積及び収量について、概ね計画を達成し、地域の担い手として農地の荒廃防止に努めている。
- 地域で需要のある大豆フクユタカの作付けを3ha (目標9ha) から1.2haに拡大し、主要な生産者として活躍している。

【大豆・水稲の作付面積及び収量の推移】

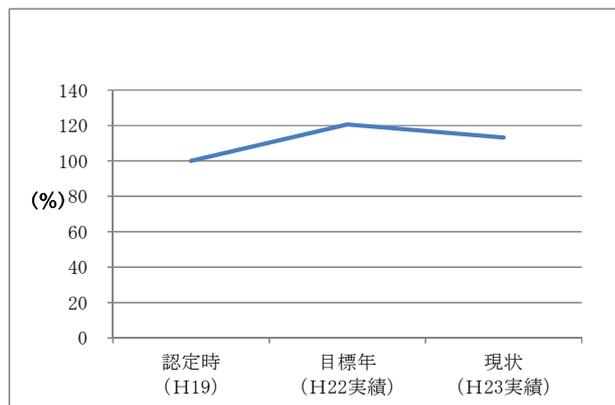


(大豆の防除)

	認定時 (H19実績)	目標 (H22)	現状 (H24実績)
大豆の作付 (ha) (うちフクユタカ)	15 (3)	20 (9)	19 (12)
収量 (kg/10a)	200	240	240
水稲の作付面積 (ha)	5	10	7
収量 (kg/10a)	477	520	508

イ 経営改善の実績

【認定時の売上高を100とした場合の割合】



(大豆の播種)

- プラン導入以降、順調に売上 (交付金等を除く) を伸ばし、認定時比113%となった。
- 大豆を中心とした経営の中で、機械の効率的な利用やコスト削減に努力し、経営基盤強化準備金の積立を行いながら、機械更新の負担を軽減し、経営の安定化を図っている。

ウ 今後の課題

- 利用権設定及び特定作業受託の増加にともなう畦畔の管理等の負担を軽減すること。
- 主要オペレーターの高齢化に対応した定年帰農者の確保とオペレーターの育成。

[西部総合事務所農林局]